

まちづくりシンポジウム

生活文化創造都市フォーラム 喜多方地域会議

「文化芸術創造都市・喜多方」の形成に向けて



参加無料
定員80名



10.23 (金) 16:30-19:00

大和川酒造昭和蔵ホール

基調講演「世界の文化芸術創造都市の潮流」

創造都市とは、市民一人ひとりが創造的に働き、暮らし、活動する都市です。欧米から始まり、今や世界で400以上の都市が目指している都市モデルです。

基調講演では、創造都市研究の第一人者である、佐々木雅幸氏から、創造都市の概念、国際的な潮流をご紹介します。だくとともに、喜多方市へのメッセージをいただきます。



講師 佐々木雅幸氏

公立大学法人 静岡文化芸術大学 理事長・学長
創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 顧問
1980年より、大阪経済法科大学、金沢大学、立命館大学、大阪市立大学、同志社大学で教授を務め、2026年4月より現職。大阪市立大学名誉教授。
創造都市研究の日本とアジアにおける第一人者。創造都市ネットワーク日本の顧問として、ユネスコや全国各地の創造都市の取組みを支援。主な著書に「創造都市の経済学」、「創造都市への挑戦」など。

パネルディスカッション「文化芸術創造都市・喜多方の形成」



野田邦弘氏 (コーディネーター)

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科客員教授
文化経済学会日本顧問
茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員長
2004年まで横浜市職員として主に文化行政に携わる。2003年、横浜市の都市政策「クリエイティブシティ・ヨコハマ」の策定を担当。翌年、文化芸術都市創造事業本部創造都市推進課の初代担当課長に就任、横浜トリエンナーレ2005を担当。2005年、鳥取大学地域学部教授に就任。2021年より現職。著書に『アートがひらく地域のこれから—クリエイティブリティを生かす社会へ』(共著)など。



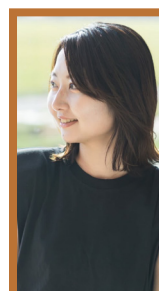
赤坂憲雄氏

民俗学者
学習院大学教授
喜多方市政推進顧問
1953年東京都生まれ。東京大学卒。専攻は日本文化論。最近では民俗学と文学を繋ぐために試行錯誤を重ねている。著書に、『東北学／忘れられた東北』『岡本太郎の見た日本』(岩波現代文庫)、『姥棄て考』(岩波新書)、『いくつもの武蔵野へ』(岩波書店)、『定本 柳田国男の発生』(青土社)、『宮崎駿の詩学』(集英社)など。



原 忠信氏

筑波大学芸術系准教授
グラフィックデザイナー、自転車フレームビルダー
米国 Rhode Island School of Design でMFA取得後、日米にてApple、Coca-Cola社などのブランディング業務に携わる。筑波大学では竈を積んだ自転車屋台の制作と活用など、循環型でレジリエントなコミュニティづくりの実践と研究を行う。喜多方市では「小田付重伝建地区標識デザインプロジェクト」「大和川ミュージアム 四方」などを担当。



木元葉菜氏

掬喜 (KIKKI) 代表
蔵の街喜多方株式会社 宿泊事業部チーフマネージャー
2000年東京都生まれ、早稲田大学文化構想学部卒。在学中のゼミ合宿を機に喜多方に魅了され、二拠点生活を経て移住。2026年より蔵の街喜多方(株)にて宿泊・カフェ施設「hatoba」の企画・立上げを担当。個人事業「掬喜」としてキタカタフリマ等の企画運営、プロジェクトマネジメントも手掛ける。

生活文化創造都市フォーラム
喜多方地域会議

「文化芸術創造都市・喜多方」の形成に向けて

日時：2026年10月23日（金）16:30-19:00

会場：大和川酒造昭和蔵ホール

〒966-0861 福島県喜多方市字寺町4761 / 喜多方駅から徒歩15分

参加費：無料（定員80名）

主催：一般財団法人 日本ファッション協会

共催：喜多方市、会津喜多方商工会議所

後援：日本商工会議所

蔵で語る、蔵で醸す、喜多方の未来

喜多方市は、豊かな地下水と米を生かした酒、味噌、醤油の醸造で栄え、多くの土蔵が建てられた「蔵のまち」です。現在でも喜多方市には約4000棟の蔵が残されており、人が住み、使い、暮らしのうつわとしての役割を果たしています。

そして喜多方市では、「蔵」を地域の歴史資源と捉え、積極的に活用するまちづくりが進められています。2023年度には2027年度までの5か年を計画期間とする「喜多方市文化芸術推進基本計画」を策定、「文化芸術創造都市・喜多方」の形成に向けた活動が推進されています。

本フォーラムでは、この計画の内容を広く市民と共有するために、日本・アジアにおける創造都市研究の第一人者である佐々木雅幸氏を招き、基調講演をいただくとともに、喜多方市で創造活動を実践しているパネリストとともに、蔵のまち・喜多方の、創造性あふれる、そして持続可能な未来について語り合います。

まちづくりに関心をお持ちの幅広い市民の皆様のご参加をお待ちしております。

お申込み方法

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。

喜多方市役所 教育委員会 文化課 0241-25-7075

右二次元コード（WEBフォーム）からもお申込みいただけます。

https://www.japanfashion.or.jp/seminar/kitakata_20261023_bosyu/



氏名

所属/役職

住所

喜多方市内 ・ 喜多方市外（

都道
府県市町
村 ）

ご連絡先

メールアドレス（

）

TEL（

）

ご質問など

ご提供いただいた個人情報は、厳重な管理のもとに、本事業に関してのみ使用いたします。

お問い合わせ先

一般財団法人 日本ファッション協会 / TEL：03-3295-1311

喜多方市 教育委員会 文化課 / TEL：0241-24-5323

【一般財団法人 日本ファッション協会】ファッションを衣・食・住・サービスを含む「生活を豊かにするすべて」と捉え、ファッションの向上を通じて生活文化全般の発展と「豊かな生活文化の創造」を目指してさまざまな活動を展開している。地域の生活文化の活性化を支援する地域振興事業の一環として「地域独自の豊かな生活文化」こそが、人々の創造性を育み、「創造の場を産み出す源」となるとの考え方から、「生活文化創造都市」の普及に取り組んでいる。